

与された。公示は2000年米国で開催の第14回国際人間工学会総会で行われる。

#### ◇社会・経済システム学会

- 1998年10月24日・25日に、京都精華大学において開催され、本学部からは高坂健次教授が部会の司会をつとめた。なお、高坂教授はひきつづき理事として再選された。

#### ◇日本マス・コミュニケーション学会

- 1998年秋季研究発表大会は10月31日（土）東洋大学白山キャンパスで行われた。「ワークショップ2—デジタル下の公共サービス放送—その概念の問い直し」では石川明教授が司会を担当、本学部からは津金澤聰廣教授（理事）、石川明教授、芝田正夫教授が出席した。

#### ◇第71回日本社会学会大会

- 11月22日・23日に、牧大会委員長のもと、本学上ヶ原キャンパスで開催された。約2500人が参加し、史上最大規模の大会となった。本学部の社会学スタッフは準備と運営に追われたが、それにもかかわらず多くの教員・院生が研究発表や司会を担当した。そのほか宮原浩二郎教授の司会で、大会開催校企画のシンポジウム『現代社会における「大人」の意味』が開催され、社会学部2号教室は超満員となった。パネリストとして、本学部の立木茂雄教授と本学研究科OGで吉備国際大学の柳原佳子教授が参加した。遠藤惣一教授、山本剛郎教授、対馬路人教授、荻野昌弘助教授らが司会を担当し、中野秀一郎名誉教授、川久保美智子教授、三浦耕吉郎助教授、田並尚恵研究員、種田博之研究員、豊島慎一郎研究員、岩本茂樹院生、圓田浩二院生、山室敦嗣院生、李為院生、浜田宏院生、内田啓太郎院生らが討論者および研究発表をおこなった。

#### ◇日本広報学会

- 1998年第4回研究発表大会は11月28（土）、29（日）両日、早稲田大学において開催された。本学部からは立木茂雄教授が「カナダにおける企業とボランティアセクターの関係」につ

いて発表を行った。ほかに、津金澤聰廣教授が出席した。

#### ◇日米都市防災会議

- 立木茂雄教授は、1999年1月12日から14日まで、神戸国際会議場で開かれた日米都市防災会議において、第5部会「被災者対応とボランティア」のco-chairをつとめるとともに、以下の3編の研究報告を行った。“The transfer of disaster volunteer management know-how: A case study of the Japan sea-coast oil spill of 1997”（林春男京都大学防災研究所教授との共同発表）、“Reflective Analysis of Disaster Mental Health Management: Response to the Loma Prieta Earthquake”（ホンマ・レイコ米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校講師との共同発表）、“40 Months of Hyogo-FAIR”（林春男京都大学防災研究所教授、牧紀男理化学研究所三木防災フロンティア研究センター研究員との共同発表）。

#### ◇アジア太平洋社会学会大会

- 1999年2月4～6日に韓国済州島で開催されたアジア太平洋社会学会大会の理事会において、高坂健次教授は新会長に選出された。